

電力コストの見直しなら、ネオ・コーポレーション

ネオ・コーポレーション



高圧電力の基本料金は、過去1年間の消費電力の最大値（30分ごとに電力会社が生計測）をもとに計算されます。この最大値を下げ基本料金を削減できるのが、電力各社が推奨するデマンドコントローラーです。

消費電力が最大となるのは、夏や冬のエアコンがもっとも稼働する時期であり、この際のエアコンの消費電力は、全体の約50%を占めると言われています。当社が販売するデマンドコントローラーACMDは、消費電力を常時監視し、目標設定した消費電力を超えそうになると、エアコン室外機のコンプレッサーを一時的に自動停止させ、目標設定を超えないようコントロールすることで、消費電力の最大値を下げ、基本料金を大幅に削減します。また、ACMDはコンプレッサーのみを停止させるため、室内機の作動は継続、すでに暖められた（冷やされた）空気が送風され続け、室内の温度変化を最小限に抑えます。まずは調査を行い、ご要望に応じた、空調機器制御の優先順位や基本料金の削減目標などを、ご提案。ACMDは、導入の翌月から基本料金を削減いたします。

問い合わせは、



0800・1233・4567。